

JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報(月刊) ジェービーイー・ニュース

2022

8

Issue No. 406

- 1 「FDI Report 2022」発表
- 2-3 2022年度サクラメント訪問報告
- 4-5 「第32回OC大運動会」報告
- 6 デイビッド・オノさんが旭日小綬章を受章
- 7 JBA会員企業インタビュー
- 8-9 各部会からのお知らせ／新入会企業紹介
- 10 8月、9月のイベントカレンダー

編集・発行 Japan Business Association of Southern California
1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone: 310-515-9522

制作協力 Lighthouse

©JBA 2022 本誌掲載の記事・写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

商工部会

「FDI Report 2022」 (海外直接投資報告書)発表

去る6月23日、WTCLA主催イベントにて、カリフォルニア州における海外直接投資報告書の2022年度版が発表された。日本は同州への直接投資において、今年も雇用者数、企業数、総賃金共に1位となった。

JBAが「Strategic Alliance Partner契約」を締結しているLAEDC (Los Angeles County Economic Development Corporation: ロサンゼルス郡経済開発公社)の傘下機構、WTCLA (The World Trade Center Los Angeles)は、6月23日、Sheraton Grand Los Angelesにてロサンゼルスへの投資を促すビジネス交流イベント「Select LA Investment Summit 2022」を開催。世界53カ国から総勢400名以上が参加した。イベントでは、LAEDCのビル・アレン社長兼CEO、そしてWTCLAのステイブン・チャン社長をはじめ、在ロサンゼルス総領事館からも武藤総領事が参加されたパネルディスカッション、そして水素エネルギーや電気自動車、気候インフラ、循環経済に関するブレイクアウトセッション、関連企業からのプレゼンテーションなどが行われた。

これまで、JBAとLAEDC、WTCLAとの連携は非常に良好であり、今後もこの関係性を継続していくことがJBAとしても非常に重要であるが、同イベントで発表された、南カリフォルニアにおける外国直接投資報告書、通称「FDI Report」の最新版である「Foreign Direct Investment

in California, 2022」(詳細は【コチラ】をクリック)によると、今年も日本が雇用者数、企業数、総賃金のいずれにおいても1位を独占しており、日本企業がカリフォルニア州での雇用創出や地元経済に大きく貢献を続けていることが分かった。

さらに、カリフォルニア州とテキサス州の投資メリットの比較資料(詳細は【コチラ】をクリック)によってカリフォルニア州の優位性が紹介されると、地域の投資促進の観点からガルセッティ・ロサンゼルス市長も登壇。同氏は力を込めながら、参加者らにロサンゼルスへの投資メリットを強く訴えた。また、イベント全体を通して、環境問題に配慮した公共交通機関、ロサンゼルス港の脱炭素のインフラ構築、そ



イベント前日のレセプションにて、LAEDCのビル・アレン社長兼CEO(左から3人目)と小林JBA会長、商工部会員らで記念撮影。

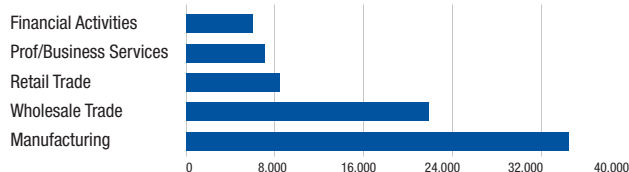
してそれらの実績を全米に広げる、という観点でのプレゼンテーションが多く見られた。

JBAとしては、日系企業がカリフォルニア州で事業を続けていくべく、有益なアドバイス、支援を得る意味でも、LAEDC、WTCLAとの良好な関係を継続していくことが肝要と思われる。

カリフォルニアへの海外直接投資において日本が今年もNo.1!

雇用者数 **105,053**
企業数 **3,523**
賃金 **\$10,978M**

業種ごとの雇用者数



地域ごとのデータ

エリア	雇用者数	エリアごとの雇用者数割合	企業数	賃金(単位:100万ドル)
Bay Area	27,383	26.1%	994	3,002.5
Southern California	74,486	70.9%	2,341	7,662.0
Greater California (*1)	3,184	3.0%	188	313.6
Los Angeles County	34,405	32.7%	1,102	3,595.3
合計(*2)	105,053	100.0%	3,523.0	10,978.1

*1. Bay Area, Southern California以外の全てのエリア。 *2. Los Angeles Countyの数字は合計には含まれておらず。(データ:WTCLA「FOREIGN DIRECT INVESTMENT IN CALIFORNIA, 2022」より)

商工部会

2022年度 サクラメント訪問報告

JBAが毎年、北加日本商工会議所(JCCNC)と共同で行っている州都サクラメント訪問を、本年も去る6月15日、16日に実施した。ここでは、その模様をレポートしていく。

〈今回の訪問日程〉

■6月15日(水)

- AI Muratsuchi 下院議員との会談
- カリフォルニア商工会議所との昼食会
- カリフォルニア災害対策知事室(Cal OES)とのミーティング

■6月16日(木)

- カリフォルニア陸運局(DMV)とのミーティング(オンライン)
- カリフォルニア州経済促進知事室(GO-Biz)とのミーティング

※予定されていたRobert Hertzberg上院議員との会談は、同議員の急用によりキャンセル

今年もAI Muratsuchi議員やDMV、GO-Biz、Cal OESを訪問

JBAは毎年、北加日本商工会議所(JCCNC)と共同でカリフォルニア州都・サクラメントを訪問しており、今年は6月15日、16日の2日間にわたって実施した。同訪問は、州政府や関係団体との関係維持・強化を図る目的で20年間以上にわたって毎年実施しており、今回は10名(JCCNCより鶴見会長以下6名、JBAからは小林会長、中谷商工部会長以下4名)が参加した。

サウスベイ地域を地元とする唯一の日系アメリカ人議員AI Muratsuchi氏との面談では、地域経済に対する日系企業の貢献度をアピールし、さらに日本企業の投資を増やすにはどうすべきかの意見交換を行った。その他、DMV、GO-Biz、Cal OESといった州政府の複数の機関と会談し、その活動に関して何うとともに、日系企業およびその社員が抱える課題に関して議論した。(本稿文責:商工部会・山田亮(Kintetsu Enterprises Co. of America))



AI Muratsuchi 下院議員(左から5人目)と記念撮影。

AI Muratsuchi下院議員とのミーティング

今回の訪問において最初にミーティングを行ったMuratsuchi下院議員は、その前の週に下院議員の予備選挙で勝利したばかりであった。喫緊の課題として、ホームレス問題や犯罪を挙げたほか、住宅の供給不足を解消すべく取り組んでいるとのことである。

Muratsuchi議員は、日本がカリフォルニア州内において最大の投資家かつ雇用創出者であること、また、自身の選挙区であるサウスベイ地区にも多くの日系企業が展開していることを認識しており、「世界の国家と比較しても第5位にあたる経済規模を持つカリフォルニア州は、そういった日本のビジネスを引き付け、サポートできる」と語った。また、特に再生エネルギー技術や水素テクノロジーは重要なテーマであり、日本のリーダーシップとテクノロジーに期待しているとコメントした。

また、かねてから相談してきた「日本からの新規駐在員にとって、カリフォルニア州の運転免許証の発行に時間がかかり過ぎている。日本の運転免許証により同州の免許証が自動発行できないか」という要望に



カリフォルニア州議事堂前にて、JBAおよびJCCNCの訪問団メンバーで記念撮影。

ついては、法律案をサポートしていることを教えていただいた(※この法律案については、残念ながら現在の会期中には承認されない見通しであるが、今後の展開を注視していく)。

カリフォルニア災害対策知事室(Cal OES)とのミーティング

今回の訪問では、サクラメントの郊外にあるカリフォルニア災害対策知事室(Cal OES)も訪問し、Abigail Browning チーフ(民間セクター担当)ほか、計4名と会談を行った。自然災害のみならず、新型コロナウイルスやテロ対策なども担当するCal OESは、諸官庁・学会・民間の各セクターの垣根を越えた連携を促進する仲介機能を担い、一般企業のようなトップダウンではなく原則的にボトムアップのマネジメントで災害現場の声を活用している機関である。

テクノロジーの活用については「山火事の観測において煙の中でも飛べるドローンを利用していること」、各種セクターの連携については「火災時における一般企業の要望を官公庁に取り次ぎ解決したこと」などの具体的事例を用いて説明を受け、日系企業にも有事(あるいはその前段階)にはぜひ、連絡・活用してほしいとのことであった。特に地震対策については日本の取り組みを参考にしているという説明もあり、当方が



Cal OESで災害対策について説明を受けた後、皆さんと記念撮影。

らは日系企業の知識や技術を活用してもら
うよう働きかけを行った。

GO-Bizとのミーティング

GO-Biz (Governor's Office of Business and Economics Development: 経済促進知事室) は、カリフォルニア州の経済促進と雇用創出のための州知事特命機関であり、今回はHenan Liアジア担当代表とMaria Onorato外国投資プログラムマネージャーが参加した。GO-Bizは「SelectUSA Investment Summit」などのイベントや外国での活動を通して同州の魅力を訴える一方、州内の中小企業を中心に輸出の促進などを行っている。また、同州は予算を教育などの“将来”に重点的に割り当てており、気候変動や脱炭素にも多額の予算を投入していることを説明した。

日本とのビジネス協業で特に力を入れた分野としては、本年3月に同州と日本政府の間で結ばれた協力覚書に記載された気候変動や再生可能エネルギーなどに加え、エコ農業技術が挙げられた。GO-Bizとしても、来年3月に東京で開催予定の「World Smart Energy Week」などの活動を通して、日本でも活発に活動したい意向があると伺った。



総勢11名でのGo-Bizとのミーティングの様子。

その他

カリフォルニア陸運局 (DMV) とはオンラインで会談し、日本国の運転免許証による同州の免許自動発行の可能性について議論。DMVからは「REAL ID」の運用開始が近くになっており (2023年5月)、直前ではなく早めの取得を勧められた。

また、カリフォルニア商工会議所幹部との昼食会では、ざっくばらんにカリフォルニ

ア経済・産業動向について意見交換を実施した。

今回のサクラメント訪問の成果を踏まえ、JBA会員企業がさらに有意義な情報収集やメリットの享受ができるよう、引き続き取り組みんでいく。

はみ出し話①

日系アメリカ人州会議員として日本と強いつながりを持つMuratsuchi議員。サクラメントから、自宅があり選挙区でもあるサウスベイ地区に戻ってくるとまず向かうのは、某日系スーパーとのこと。物流逼迫に関する話題になった時も、我々に対し「どの魚 (寿司ネタ) が届かないんですか?」と逆質問する一幕もあった。

はみ出し話②

各種官庁の集積するサクラメントにおいて、Cal OESの事務所だけは中心部より10マイルほど離れた郊外にある。これはサクラメントで有事の際に州知事以下幹部がここに移動して執務することができるようにするためだそうで、実際、9/11の際やコロナ禍初期に、州知事がこの建物内で執務したことがあるとのこと。危機管理を統括する部門が自らリスク管理を実践している事実は、非常に興味深いと感じた。



カリフォルニア商工会議所にて昼食会で意見を交わした後、皆さんと記念撮影。



低迷が続く日本経済、マイナス金利いまこそ余剰資金をM&Aに活用し、米国で事業成長を支える将来の資産を形成しましょう！

M&A、経営戦略のアドバイスに高い実績を誇る専門集団である Takenaka Partners は、30年以上に渡り米国の日系企業の成長戦略を担ってきた豊富な実績と経験を有しています。

インベストメントバンキング

- M&A、戦略的アライアンス、合併、出資
- 買収、提携候補企業のグリーンフィールドリサーチ
- ポストマジョーインテグレーション
- 財務及びビジネスデューデリジェンス
- 企業価値算定 (Valuation)

コンサルティング

- 成長戦略構築コンサルティング
- 戦略的アライアンスのためのマッチメイキング
- 海外進出コンサルティング
- 財務・オペレーションの分析・見直し
- 市場・業界・競合分析
- 新しい企業の発掘及びライセンス

米国市場への新規参入や既存事業の拡大・多角化は、M&Aや戦略的提携をうまく活用することで、時間とコストを大幅に削減し、効率良く実行することが可能です。Takenaka Partnersは、相手企業との交渉、デューデリジェンス、企業価値算定などの基本業務に加え、日系企業独自の企業文化や成長戦略を理解した上で最適な相手企業を探し出し、クロージング交渉までフルサポートいたします。

Takenaka Partners LLC
801 S Figueroa St. Suite 620
Los Angeles, CA 90017

連絡先: (213) 399-8400 (竹中)
(213) 800-2274 (Tan)
(408) 718-8064 (篠原)

「第32回OC大運動会」報告

去る6月26日(日)、オレンジ・カウンティの Segerstrom High Schoolにて、「第32回OC大運動会」を開催した。コロナ禍を経て3年ぶりの開催となった今回は、41社117家族、278名が参加。晴天の中、紅組と白組に分かれ、さまざまな競技で汗を流した。

関係者らの熱い思いで 3年ぶりの開催を実現

30年以上の長い歴史を持つJBAの伝統行事「OC大運動会」だが、コロナ禍において2020年、21年と開催中止を余儀なくされていた。そして今回、ようやく3年ぶりの開催が実現。当日、会場である Segerstrom High Schoolには早朝からオレンジカウンティ地域部会の運営委員やボランティアの方々が集まり、開始直前の準備に精を出した。

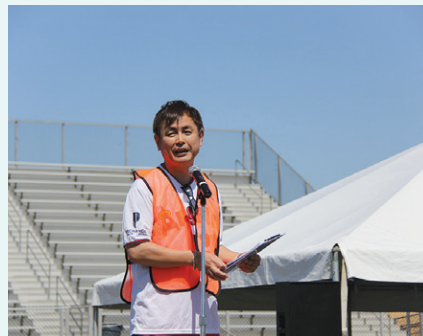
午前10時半、いよいよ運動会開幕。まず、増田オレンジカウンティ地域部会長が登壇し、「皆さん、おはようございます!」と声をかけると、子どもたちが「おはようございまーす!」と元気に挨拶。増田部会長

は続いて、「コロナ禍で2年間開催ができていなかった中、今年も難しいかなと思ながらも、何とかこの素晴らしい行事を今後につなげていきたいと、関係者全員の熱い思いで開催にこぎつけることができました。今日は非常に多くの方々に参加いただき感謝無量です。ぜひ皆さんで運動会を盛り上げて、楽しんでいただけたらと思います!」と開会の挨拶を述べた。

続いて、ラジオ体操の後、いよいよ競技開始。午前の部では「徒競走」「幼児ドン」「はらはらオレンジ」「綱引き」が行われ、幼児から子ども、大人まで参加者らが熱い戦いを繰り広げた。そして午後12時になると、昼食休憩およびドアプライズ当選者の発表。ドアプライズには、コロナ禍の厳し



早朝から運営に携った、実行委員やボランティアの面々。



開会式で挨拶をする、増田オレンジカウンティ地域部会長。



子どもたちが前に出て楽しく行った準備体操。



女子、男子の部、幼児の部に分けて行われた「徒競走」。



オレンジを落とさないよう頑張っ! (はらはらオレンジ)



大人も子ども、力の限り引っ張り合い! (綱引き)



転ばずにゴールまで行けるか!? (障害物競走)



上手に玉を入れていく子どもたち。(玉入れ子どもの部)



快速ランナーたちがしのぎを削ったグループ対抗リレー。

い経営環境の中、25社もの企業がご協力くださり、豪華賞品がズラリ。当選者らの笑顔があふれた。また、この時点での点数も発表され、紅組52点、白組55点と接戦。午後の部のデッドヒートに期待が高まった。

大盛り上がりで全競技終了。 果たして勝利の行方は…

午後1時になると、午後の部がスタートし、「障害物競走」、大人の部と子どもの部に分けられた「玉入れ」、「二人三脚」、そして

最後に「グループ対抗リレー」が行われた。快速自慢が集まった「グループ対抗リレー」は、紅組を赤組、青組、橙組、白組を白組、緑組、黄組の計6チームに分けての競争となったが、黄組が見事1位を獲得。会場は大盛り上がりの中、全競技終了となった。

午後2時15分からは閉会式。ここで再度、増田部会長が登場し、「今回は紅組162点、白組146組で、紅組の勝利！おめでとうございます！」と結果発表。そして、

「実行委員、ボランティア、参加者、全ての皆さんのおかげで、本当に素晴らしい運動会になりました。ありがとうございました」と、閉会の挨拶をした。

その後は、ドアプライズ当選者発表の後半を実施。豪華賞品が次々と当選者らに渡されていった。さらに参加者全員への参加賞も配られると、参加者らは次々と会場を後にし、運動会は無事終了となった。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

「第32回OC運動会」協力企業リスト ※アルファベット順

寄付の提供企業

- ADASTRIA USA, INC.
- All Nippon Airways Co., Ltd.
- Eco Drive Auto Sales & Leasing Inc.
- FUJIFILM Irvine Scientific, Inc.
- Gulliver USA Inc.
- HORIBA Instruments Incorporated
- Hitachi Solution America, Ltd
- H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (NY) INC.
- Jupiter Corporation U.S.A.
- Kenichi Baba, D.D.S.
- Marukai Corporation
- Mitsubishi Electric US, Inc.
- Mazda North American Operations
- Nippon Express U.S.A., Inc.
- Pacific Guardian Life Insurance Company, Ltd.
- Panasonic Avionics Corporation
- PHR MANAGEMENT INC
- Q&B Foods, Inc.
- Relo Redac, Inc.
- Suzuki Motor USA, LLC
- Toyo Tire Holdings of Americas Inc.
- Yamaha Corporation of America
- Yamaha Motor Corporation, U.S.A.

- Yamato Transport U.S.A., Inc.
- Wismettac Asian Foods, Inc.

準備委員選出企業

※下記23企業より合計37名の方々に、企画・運営に携わっていただきました。

- Akira Marketing LLC
- Calt Design Research, Inc.
- Deloitte LLP
- Eco Drive Auto Sales & Leasing Inc.
- Grant Thornton LLP
- Gulliver USA Inc.
- Hitachi Solutions America, Ltd
- Hochiki America Corp.
- HORIBA Instruments Incorporated
- J. Morey Company, Inc., The
- Jupiter Corporation U.S.A.
- KPMG LLC
- Mazda North American Operations
- Mitsubishi Electric US, Inc.
- Pacific Guardian Life Insurance Company, Ltd.
- Panasonic Avionics Corporation
- PARAMOUNT BED USA Corporation
- Pasona NA, Inc.
- Relo Redac, Inc.

- Suzuki Motor USA, LLC
- Yamaha Corporation of America
- Yamaha Motor Corporation, U.S.A.
- Yamato Transport U.S.A., Inc.

当日のボランティア参加企業

※下記企業より合計29名の方々に、当日ボランティアとしてお手伝いいただきました。

- Hitachi Solution America, Ltd
- Hochiki America Corp.
- Mazda North American Operations
- Mitsubishi Electric US, Inc.
- Pacific Guardian Life Insurance Company, Ltd.
- Panasonic Avionics Corporation
- Pasona NA, Inc.
- Relo Redac, Inc.
- Suzuki Motor USA, LLC
- Yamaha Corporation of America
- Yamaha Motor Corporation, U.S.A.
- Yamato Transport U.S.A., Inc.

救護担当医(ボランティア)

- Dr. Junichi Ohara

スタート・パシフィック



海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオール・トーランスにございます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております！

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本での住まい探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:

TEL(310)782-7877
21151 S. Western Ave. #227, Torrance, CA 90501
info@startsla.com
www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:

TEL(212)599-7697
www.startsnewyork.com

●サンノゼ店:

TEL(408)380-2499
www.starts.co.jp/sanjose

●スタートコーポレーション株式会社:

TEL(03)6202-0111(代表)
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10
スタート八重洲中央ビル
www.starts.co.jp

●ハワイ店:

TEL(808)947-2280
www.startshawaii.com

●ダラス店:

TEL(646)708-6194
https://kaigai.starts.co.jp/dallas

商工部会

デイビッド・オノさんが 旭日小綬章を受章

2021年秋の叙勲受章者として旭日小綬章を受賞されたデイビッド・オノ氏の叙勲祝賀会が、去る6月5日、JCCNCの主催で開催された。ここでは、同氏のこれまでの功績およびそれに対する祝意を伝えたい。

去る6月5日、2021年秋の叙勲受章者として旭日小綬章を受賞されたデイビッド・オノ氏の叙勲祝賀会が行われた。同会は、北加日本商工会議所（JCCNC）がJBAを含めた日系諸団体をまとめる形で、MontebelloのQuiet Cannonにて開催された。

南カリフォルニアで最も高い視聴率を持つABC7ニュース番組のアンカーであるデイビッド・オノ氏は、日本および日系アメリカ人に関するさまざまな番組を制作、放映してきた。同氏の作品は、数多くの賞を受賞するなど高い評価を得ており、ジャーナリストとして、多年にわたり米国における日本の理解促進に多大な貢献をしてきた。

10年、オノ氏は日系アメリカ人兵の戦争体験を後世に伝えるゴー・フォー・ブローク・ナショナル教育センターの依頼で、第二次世界大戦中に、日系二世兵士たちが自国であるアメリカで差別を受けながらも、欧州でアメリカ人として勇敢に戦った姿と



祝賀会でスピーチするオノ氏。

彼らの活躍によって解放された現地の人々の感謝の声を伝えるドキュメンタリー『第二次世界大戦の知られざる戦士達』を制作。ABC7の同氏のニュース番組でも放映されたこのドキュメンタリーは非常に大きな反響を呼び、公共放送PBSネットワークを通じて全米に放映されると共に、エミー賞3賞および卓越したニュース/報道番組に与えられるジャーナリズム業界で最も権威ある賞の一つであるエドワード・R・マロー賞を獲得した。

さらにオノ氏は14年、ワイオミング州ハートマウンテン近郊にあった日系アメリカ人強制収容所で、当時密かに撮影された2000枚の写真を基に、日系アメリカ人の強制収容の歴史を伝えるドキュメンタリー『ハートマウンテンの遺産』を制作。強制収容所での困難な生活の様子や、逆境の中で培われた精神力や友情を描いたこの作品は、エドワード・R・マロー賞やエミー賞4賞を獲得したほか、ABC7およびPBS

ネットワークを通じ全国放映され、強制収容の事実を広く全米に伝えた。また、15年にスミソニアン博物館の国立アメリカ歴史博物館で上映されるなど、それまであまり知られていなかった強制収容の歴史をアメリカ人に伝えることに貢献した。

11年、東北の大惨事を知ったオノ氏は、ただちに渡日し、日本の非常事態を全米へ中継。また、1年後にも東北取材し、まだ傷跡が多く残る被災地の復興の様子と、被災地では引き続き支援が必要であるという現地の声を、ニュース番組で報じた。

さらに同氏は、広島原爆投下70周年と75周年に、原爆の悲惨さと二度とこのような悲劇が繰り返されてはならないことを伝える番組を制作し、自身のニュース番組で報じ、これらの報道もエミー賞を獲得した。

オノ氏は、アンカーとして忙しいスケジュールにもかかわらず、年間を通じて司会やスピーカーとして日本関連のイベントに数多く参加し、日系団体やコミュニティの支援にも尽力している。また、JBAのためにも、JBA Advisory Groupの一員として活動を支援して下さっている。JBAとして、今回のオノ氏のご受章に心よりお祝い申し上げます。



小林JBA会長らと記念撮影をする、オノ氏(中央)。

極上の和食、いせしま。

Ise-Shima
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階
(310) 320-6700
www.ise-shima.us

トランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。

MIYAKO HYBRID HOTEL
都ハイブリッドホテル トランス・カリフォルニア
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

MIYAKO HOTEL LOS ANGELES
都ホテル ロサンゼルス
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
#38

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の事業概要に加え、回答者の南カリフォルニアでの生活に迫るコーナー。



お話をうかがったのは

笠井大樹さん

Managing Partner

公認会計士（米国・日本）。大阪府生まれ。大学在学中に日本公認会計士試験に合格。1994年監査法人トーマツ東京事務所に入所。98年から10年間、四谷公認会計士共同事務所（現、四谷監査法人）で会計監査、税務申告・調査立会、コンサルティングなどの経験を深める。2008年Deloitteで、海外勤務をスタート。20年より現職。日米両国、会計税務の双方に、これまで数百家の日系企業にサービスを提供。
<https://premierkaikei.jp>

貴社の事業内容について教えていただけますか？

会計事務所として、監査、レビュー、税務申告、記帳代行、ペイロールなどのアウトソーシング、さらにコンサルティングを行っています。コンサルティングは、決算早期化、内部統制(SOX)支援、グループレポーティング支援、システム導入における会計面からのサポートなど多岐にわたります。

事務所を立ち上げたのは2年前です。M & Aを手掛ける、ある日本の企業から、アメリカの会計税務を分かっている、同時に日本の事情も把握している会計事務所が必要だということでお声掛けいただき、当事務所を開設したという経緯があります。

現在スタッフは10名在籍しており、主に日系企業のお客様にサービスを提供しています。

私自身の業界経験は28年です。大学3年時に公認会計士の試験に合格し、卒業後、監査法人トーマツに入所し、日本で14年勤めた後、アメリカでも14年勤務しました。日米両国でCPAの資格を保持しています。

Premier Kaikei LLP

日米両国の事情を把握した会計事務所として2020年に開設されたPremier Kaikei LLPの笠井さんに、コロナ禍を経ての実感や仕事の上で大切にしている考え方などを伺いました。

コロナ禍が事業に与えた影響と今後のビジョンについてお聞かせください。

コロナ禍前はお客様の現場に足を運んでいたことが、リモートになりました。「Zoom」や「Teams」などを活用して便利はありますが、一方で空気感、またはお客様との一体感を感じるには、オンラインでは限界があるとも思います。ですので、現在は、お客様が許してくださる場合には極力現場に足を運んでミーティングを持たせていただくようにしています。

良い側面としては、オンラインでのミーティングの機会が広がったということは、つまりどこにいてもお客様と一緒に仕事ができるということであり、大きなビジネスチャンスにつながります。全米のお客様とオンラインでFace-to-faceのミーティングを持つだけでなく、クライアント企業の日本の親会社とも、より近い距離で常につながることができるという点はポジティブに受け止めています。

スタッフの働き方も、よりフレキシブルに変わりました。子どもが小さくて共働きのスタッフは、デイケアがお休みの時期などは家から働くことも可能です。ただ、お客様との一体感、空気感と同じで、一緒に職場にいてこそ学べることも多いと考えています。会計の仕事は常に勉強が必要。職場で他のスタッフがお客様と電話で話しているのを聞くだけでも新しい知識が習得できます。スタッフにはできるだけオフィスには出勤してほしいけれど、難しい時には柔軟に対応するというのが当事務所の方針です。

仕事をする上で、大切にされているポリシーがあればお聞かせください。

会計監査には、批判的機能と指導的機能という2つの役割があると考えています。批判的機能は、決算書が正しいかなど批判的な目でチェックするということで、指導的機能は、監査を通じてクライアントのビジネスをよりよく理解しながら指導的な役割を果たしていくことです。最近は監



コロナ禍を経て、よりフレキシブルな働き方に移行したスタッフと共に。

査などでも、独立性やコンプライアンスを重視し、監査人が単なるチェック屋さんにとどまらず、お客様と事務所の距離が遠くなっている場面が多いように感じます。税務の仕事も同様です。単なる知識の提供で終わってしまい、お客様からすると、「どうしたら良いか」ということが見えなくなっています。批判的な目や、知識の提供は当然ですが、私はその先のソリューションを一緒に考えていくような、より顧客の企業に寄り添った姿勢を大切にしています。

南カリフォルニアでの過ごし方について教えてください。

ここは天候が最高ですね。もともと高校では陸上選手で近畿大会にも出場したほど走るのが好きなのですが、週末は今もジョギングで汗を流しています。レドンドビーチの海沿いやパロスバーデスの山の方を走っていると、風が冷たくて最高の気分です。

JBAに期待することは？

日系企業同士が交流を深めるためにさまざまなイベントを企画し、開催されていることに感謝すると同時に、ボランティアの皆さんは自分の時間を使って貢献されているわけで頭が下がる思いです。コロナ禍を経て人と人とのつながりが希薄になっている感がありますが、これから「つなぎ続けるJBA」であり続けてほしいですし、当事務所も何らかの形で役に立ちたいと思っています。

“各部会からのお知らせ”

サウスベイ 地域部会

「Torrance Breweryめぐり」を開催しての感想文

文：Relo Redac, Inc.・石川 慧さん

去る6月18日、トーランスのマイクロブルワリーを巡る「Torrance Breweryめぐり」を開催。定員超えの26名に参加いただきました。

南カリフォルニアの夏が始まり、カラッとした快晴の中、冷たいビールを飲みながら多くの方と交流ができたイベントでした。待望のインパーソンでのイベントで、年齢や業種にかかわらずさまざまな方々とお話できたので、2時間がすぐに過ぎてしまいました。参加者の中にはご渡米されたばかりの方もいらっしゃいましたが、「社外の人と初めて話をする機会となり、とてもありがたかった」「また参加したい」「とても楽しかった」などの感想をいただきました。ビールも進み、笑顔あふれるイベントとなったこと、大変うれしい限りです。今回できたご縁を大切に、また皆さまとビール片手にお話をしたいと思います。最後に、企画から当日の運営までご対応いただきました事務局の皆さまに、感謝申し上げます。



「楽しかった」との感想が寄せられ、好評のイベントに。



快晴の中で冷たいビールを楽しみました。



Los Angeles Maritime Museum 前での記念写真。

「Port of Los Angeles ツアー」に参加しての感想文

文：Kintetsu Enterprises Company of America・宮田幹雄さん

去る7月13日、「Port of Los Angeles ツアー」に、初めて参加させていただきました。ロサンゼルス港は20年以上にわたり全米1位のコンテナ取扱量を誇る北米最大の港で、アメリカ経済はもとより世界経済の一端を支える存在感ある港といっても過言ではないかもしれません。

ツアーでは最初に、そのロサンゼルス港湾局に37年お勤めされていた森本さんから話を伺うことができました。森本さんは、この港で取り扱う貨物は、日本の全ての港が扱う外国貿易の貨物量以上であり、その面積も広大であること、また港湾労働者を取り巻く組合形態において日米間で大きな違いがあることをご紹介くださいました。そして、ロングビーチを含むこの港湾には、日系企業の大規模な拠点があること、我々日系企業が当地でビジネスを行うことができて背景にある日系人の存在やその歴史を知ることの大切さなどを、自らの港湾局で勤務されていた頃のご経験を交えながらお話してくださいました。

お話を伺った Los Angeles Maritime Museum には、「TAMINARU (ターミナル)」という特別展示が。20世紀の初頭、ロサンゼルス港内のターミナル島に、主

に漁業を営みながら生計を立てていた約3000人の日系アメリカ人のコミュニティがありました。太平洋戦争により住民たちは強制収容所に移され、そのコミュニティは失われることとなります。展示では、当時の生き生きとしたコミュニティの風景とともに、鮮明な写真やパネルを通じて、その後の苦闘と努力の歴史を感じられました。

乗船見学ツアーでは、広大なロサンゼルス港を海上から見られました。晴天ということもあり、甲板にはカリフォルニアの陽光が降り注ぐ暑い日でしたが、世界各地から集まった色とりどりのコンテナがびっしりと並び、クレーンが船から陸へとコンテナを悠々と動かす景色、自動化が進み埠頭の上を無人の機械が右へ左へとコンテナを運んでいく姿は、躍動する経済を目の当たりにする思いで圧巻でした。

今回のツアーは、我々の生活やビジネスに重要な役割を果たすロサンゼルス港とその歴史について知り、理解を深める大変有意義な機会となりました。事務局をはじめ、本企画をご準備いただいた皆さまにあらためて感謝申し上げます。

あさひ学園だより

幼稚部保育の七夕行事

文：あさひ学園事務局

7月2日、幼稚部の保育では、七夕について学びました。一年に一度だけ織姫と彦星が会えるのが7月7日七夕の日という幻想的なお話を、絵本を読んだり、歌を歌ったりして学びました。

6月18日からUCLAにて授業を行っていたサンタモニカ校幼稚部では、大学の講義室で大きな机の上でしたが、それぞれが楽しんで色とりどりの七夕飾りを作りました。短冊に願い事を書く時には、習いたてのひらがなを使って書くことができました。また、



船の上からロサンゼルス港を見学。

先生のお手本にならって、はさみを使い、慎重に折り紙に切り込みを入れます。できたものは、「天の川網飾り」。また、のりを使って一つ一つ輪飾りを作っていました。一時帰国のお友達が多いため少ない人数でしたが、一生懸命作った願い事や飾りを本物の笹に付けて大喜びでした。みんなの願いごとは何だったのでしょうか。

本校では、幼稚部、小学1年および2年の学習教室で、学年に合わせて系統立てて七夕の学習をし、工作をしています。幼稚部では特に日本文化や行事に特化して保育を行っています。多くの言葉を学び、お絵描きや工作、またリズム遊びなどを通して、他の人とのコミュニケーション力を育み、その後の義務教育の基礎を着実に身に付けていきます。9月からの幼稚部への編入も受け付けていますので、事務局にお問い合わせください。



楽しみながら七夕飾りを作成する子どもたち。

新入会企業紹介

JBAの活動を通じて日系企業の皆さまと交流、情報交換させていただきたく入会致しました。JBAの歴史ある活動にも貢献していきたいと考えております。

松本夏寅さん



Haseko (Hawaii), Inc.

DATA

住所：18575 Jamboree Rd., Suite 600, Irvine, CA 92612 (California Branch Office)

☎ 949-704-2990

Web：https://www.haseko.co.jp

責任者：松本夏寅（カリフォルニア支店長）

従業員数：49名（内カリフォルニア支店3名）

他の営業拠点：ハワイ州オアフ島

Hasekoの米国事業は、1973年にハワイ州から始まり、ニューヨーク、ロサンゼルスなどでも住宅開発を中心とする不動産事業を展開。90年代初頭のバブル崩壊後はハワイでの開発事業にフォーカスし、これまでに米国で8600戸超の住宅を供給。2019年より新たな収益基盤の確立を目指して米国本土における不動産投資事業を再開、主に賃貸住宅開発事業へ資本参画している。米国におけるさらなる事業機会の発掘、収益基盤の拡大を期し、22年4月にカリフォルニア州アーバイン市に拠点開設。米国でも「マンションの事なら長谷工」を目指す。

JBAの活動を通じて、日系企業の皆さまとの交流を深め、米国で活躍されている個人様、日系企業様へのサポートを行い、日系コミュニティへの貢献をしていきたいと思っております。

砂田吉士さん



Sunada Recycling

DATA

住所：14126 Orange Ave., Paramount, CA 90723

☎ 310-627-9285

Web：https://www.sunadarecycling.com/

責任者：砂田吉士（CEO）

従業員数：2名

他の営業拠点：広島県東広島市

Sunada Recyclingは、米国カリフォルニア州を拠点に設立され、PC電子機器回収・リサイクル事業、データ破棄サービス、プロダクト破棄サービス、産業廃棄物処理コンサルティングなどの業務を通じて、資源再生利用、環境保護における視点から日系コミュニティ、日系企業へのサポートを提供している。

昨今、環境保全への取り組みがますます必要とされる中、同社は企業活動が地球環境保全の一助となるよう、全社を挙げて努力していく意向だ。

監査・税務・コンサルティング・日米会計総合サービス プレーガー メティス会計事務所

全世界の主要17都市に事務所を置く世界トップ10の
国際会計事務所の日系部門「NAGANO MORITA」が
米国進出・事業拡大を徹底サポートします！

pragermetis.jp

NAGANO
MORITA
a Division of

Your world. Worth more.

プレーガー メティス
PragerMetis

8/9月のJBAイベントカレンダー

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

8/13 (土)
大リーグ観戦 エンゼルスvs
ツインズ戦
オレンジカウンティ地域部会

8/27 (土)
マンザナー収容所跡巡礼
バスツアー
ダウントウン地域部会

9/17 (土)
ビーチクリーンアップ
サウスベイ地域部会

8/14 (日)
米国女子サッカーリーグ観戦—
日本代表遠藤選手を応援しよう!
ダウントウン地域部会

8/28 (日)
カタリナ島日帰りツアー
サウスベイ地域部会

9/24 (土)
ミラマーエアショー
サウスベイ地域部会

8/21 (日)
二世ウィーククロージング・
盆踊り
ダウントウン地域部会

9/17 (土)、18 (日)
ソフトボール大会
企画マーケティング部会

新入会員

ALBION Cosmetics (America), Inc.
Haseko (Hawaii), Inc.
Redac Advantage Insurance Services LLC
FGL Aircraft USA Inc.

11572 Nebraska Ave., #1, Los Angeles, CA 90025
18575 Jamboree Rd., Suite 600, Irvine, CA 92612
3424 Carson St., Suite 300, Torrance, CA 90503
21250 Hawthorne Blvd., Suite 500, Torrance, CA 90503

☎ 310-922-0525
☎ 949-704-2990
☎ 310-793-1309
☎ 310-792-7413



さあ、次の目的地へ。

Hitachi Solutionsはソリューションポートフォリオを、Digital Compass™として体系化しています。

業務システムの改善から、データ分析・AI技術の適用、Office環境の構築・移行から、システムの運用管理・ユーザートレーニングまで、課題や状況に合わせ、最適なソリューションを提案。

貴社を次の目的地までナビゲートします。



お問合せ +1-650-615-7621
info-jp@hitachisolutions.com

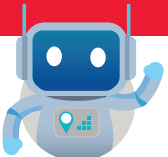
Webをチェック <https://global.hitachi-solutions.com/>

担当: 高木・黒田まで

Microsoft Partner



2021 Partner of the Year Winner
Dynamics 365 Field Service Award
2021 Partner of the Year Finalist
Dynamics 365 Customer Service Award
Dynamics 365 Marketing Award
Dynamics 365 Sales Award
Government Award



「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は 米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします

- ・渡米前に日本で米国の銀行口座を開設し、生活費を送金したい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の銀行口座を利用もしくは帰国後に解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**

(フリーダイヤル・日本時間にも対応) までお問い合わせください。



©2022 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC. Equal Housing Lender.
Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at unionbank.com/prcb